

実践記録

学校/学年	小学校 / 6 年	
教科等：単元名	学級活動：安全なネットの使い方	
キーワード	インターネット 使い方	
	分類	☐ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☒ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d 3：情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる。
	中目標項目番号 中目標項目内容	d 3 - 1：予測される危険の内容がわかり、避ける。
授業会場	☐ パソコン教室 ☒ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	ウェブサイトなどの中には、人を驚かせたり、困らせたりするよくないものもあるので、不審なサイトにはアクセスしない判断ができる。	
使用教材	教材名	事例で学ぶ Net モラル
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先(URL 等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶ Net モラル」

○展開案

	学習活動	指導 評価
導入	・ インターネットを使った経験について振り返る。	・ 家でのインターネット利用の経験、どんなことに利用したかをアンケート形式に記入し、発表。
展開	・ 映像クリップを見る。 ・ わたる君にどんなことが起こったのか確認する ・ なぜそうなったのか考える。 ・ インターネットを利用するときに気をつけることを考え、発表する。	・ 映像クリップを再度見ながら、不審なリンクをクリックしたことを確認。 ・ 同様の経験があったら出させる。 ・ サイトの中には、人を驚かせたり、気分を害するようなものがある。 ・ 個人情報の入力に誘うページなどがある。 ・ 変だなと思うリンクをクリックしない ・ 住所名前などは入力しない
おわり	・ まとめの映像を見て、どのようなことに注意したらいいか、確認する。	・ 上記の点を確認するとともに、インターネットの利用は保護者の了解を得て使ったり、困ったことはすぐ相談することを押さえる

○授業の成果

- ・ ゲームサイトや YouTube などの動画サイトを利用したことがある子が比較的多くいた実態の中で、不適切な内容などがある場合や個人情報入力をさせる場合などの危険があることが分かり、ほとんどの子がこれからは気をつけたいという感想を書いていた。

○指導のポイント・留意点

- ・ 映像クリップを見た後、実際に似たような体験をした児童に発表させると現実感があり、より真剣に取り組んでいた。